

金町駅北口周辺地区まちづくり

第6回 まちづくり勉強会



平成28年3月9日（水）

● 本日の説明内容

1. 第6回勉強会の目的・内容

2. 第4回勉強会(ワークショップスタイル)の振り返り

3. 第5回勉強会(二子玉川ライズなどの現地視察)の報告

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

意見交換

1. 第6回勉強会の目的・内容

第6回勉強会の目的・内容

【目的】

金町駅北口周辺地区が賑わい、活性化し、より良い“まち”となるよう、皆様と協働してまちづくりを進めることを目的とします。

【内容】

ワークショップスタイルでの意見交換の結果や二子玉川と自由が丘商店街の現地視察を踏まえて、金町駅北口周辺地区のまちづくりの考え方について説明し、意見交換を行います。

2. 第4回勉強会(ワークショップスタイル)の振り返り

第4回勉強会 (平成28年1月25日)

4つのテーマについてまちづくりの考え方をお示しし、ワークショップスタイルで意見交換を行い、意見交換の結果を発表していただきました。

安全・安心な都市基盤への改善

個性あるまちの賑わい拠点の再構築

金町駅北口の知名度を高める魅力づくり

多様な世代による持続的なまちづくり



※発表していただいた内容は、まちづくりの考え方の中で説明します。

3. 第5回勉強会(二子玉川ライズなどの現地視察)の報告

【現地視察の行程など】

月 日：平成28年2月9日（火）

参加者：17名

行 程： 8：15 金町駅をバスで出発

9：30 二子玉川到着

9：45～11：30

↓ ◎二子玉川ライズの再開発事業などの説明

↓ ◎二子玉川ライズ内視察

11：45 二子玉川出発

12：30 自由が丘到着<昼食・休憩>

13：00～15：30

↓ ◎自由が丘商店街の取組み説明

↓ ◎自由が丘商店街などの視察

16：00 自由が丘出発

↓

17：30 金町駅に到着（解散）



3. 二子玉川ライズのまちづくりの取組み(概要①)

【二子玉川ライズ】

- 二子玉川駅東側において、市街地再開発事業により大規模なまちづくりを実施。
- 新たな賑わい拠点が整備されたことにより、駅を中心に賑わい、活性化、魅力付けを実現。
- 再開発の完了後の継続的なまちづくりとして、タウンマネジメントに取り組んでいる。

※二子玉川ライズの事業概要は次頁を参照。



二子玉川駅東側



金町駅北口周辺

3. 二子玉川ライズのまちづくりの取組み(概要②)

二子玉川の再開発事業について

- 二子玉川東地区の開発にあたっては、この土地が元来所有する自然資産や都心との距離感を活かしながら、長い時間をかけて育まれてきた良好な住環境や商業集積を発展させ、すべての人が安全で安心な生活が送れる街づくりを目指しました。

二子玉川ライズについて

- 二子玉川ライズは駅前の賑わいの商業ゾーン、居住ゾーン、そして二子玉川公園から多摩川へと続く約1kmの長い形状になっています。この「都市」から「自然」へ至る流れをデザインしています。

タウンマネジメントについて

- 二子玉川ライズ協議会が管理運営【ソフトの運営】
- 地域コミュニティの醸成
- 街ブランディングと賑わいづくり【ハードの管理】
- 広場、外構部の管理

〈二子玉川駅周辺の様子〉



再開発事業着手前



第2期事業開発後



美観維持(植栽管理・清掃)



不法駐輪への取組み



WEBサイト



デジタルサイネージ



地域活動への参加



広場を活用したイベントの開催

二子玉川ライズHP：<http://www.rise.sc/>

3. 自由が丘商店街のまちづくりの取組み(概要①)

【自由が丘商店街の取組み】

- 自由が丘駅周辺の12の商店会が連携して自由が丘商店街振興組合を組織し、地域活性化、地域PRなどのまちづくりに取り組んでいる。
- 12の商店会の個別の取組みに加えて、振興組合として街の魅力や利便性、快適性を高める、特徴のある様々な取組み実施。

※自由が丘商店街振興組合の取組み概要は次頁を参照。



自由が丘駅周辺



金町駅北口周辺

3. 自由が丘商店街のまちづくりの取組み(概要②)

自由が丘商店街振興組合について

- 国内最大級の商店街組織であり、組合の会員は、1,319軒で、自由が丘の魅力づくりや会員店舗繁栄のために活動しています。

自由が丘商店街HP：<http://www.jiyugaoka-abc.com/>

自由が丘商店街振興組合の活動

【イベント】



スイーツフェスタ



盆踊り



熊野神社例大祭



女神まつり



クリスマスイベント

【広報】



インフォメーションセンター



セザンジュ



WEB



ガイドブック



自由が丘新聞

【環境】



ダスターズ（街の清掃）



自由が丘方式（ゴミ収集）

「自由が丘」というブランド価値を高める

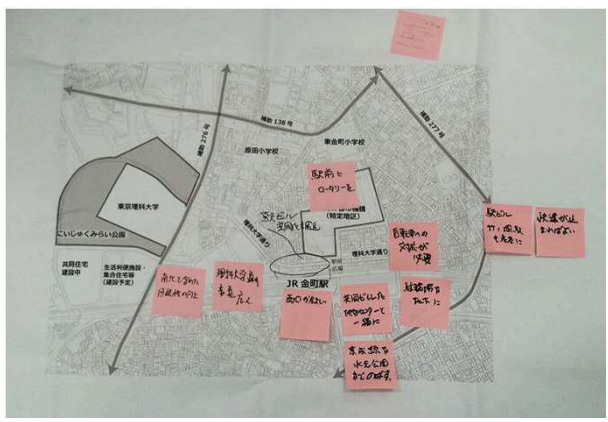
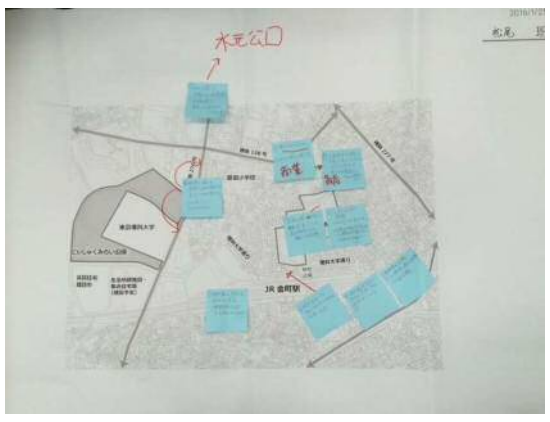
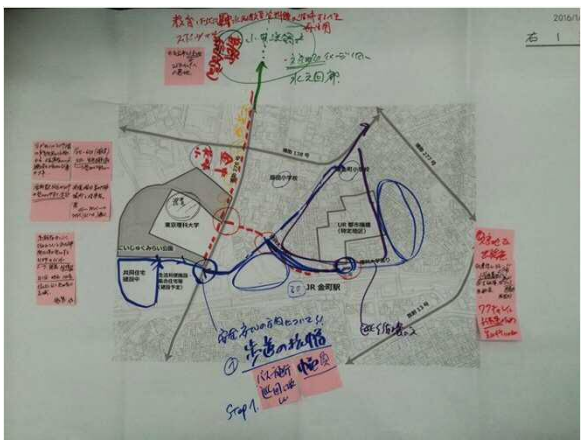
4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

**ワークショップスタイルでの意見交換
の結果の取りまとめ**

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

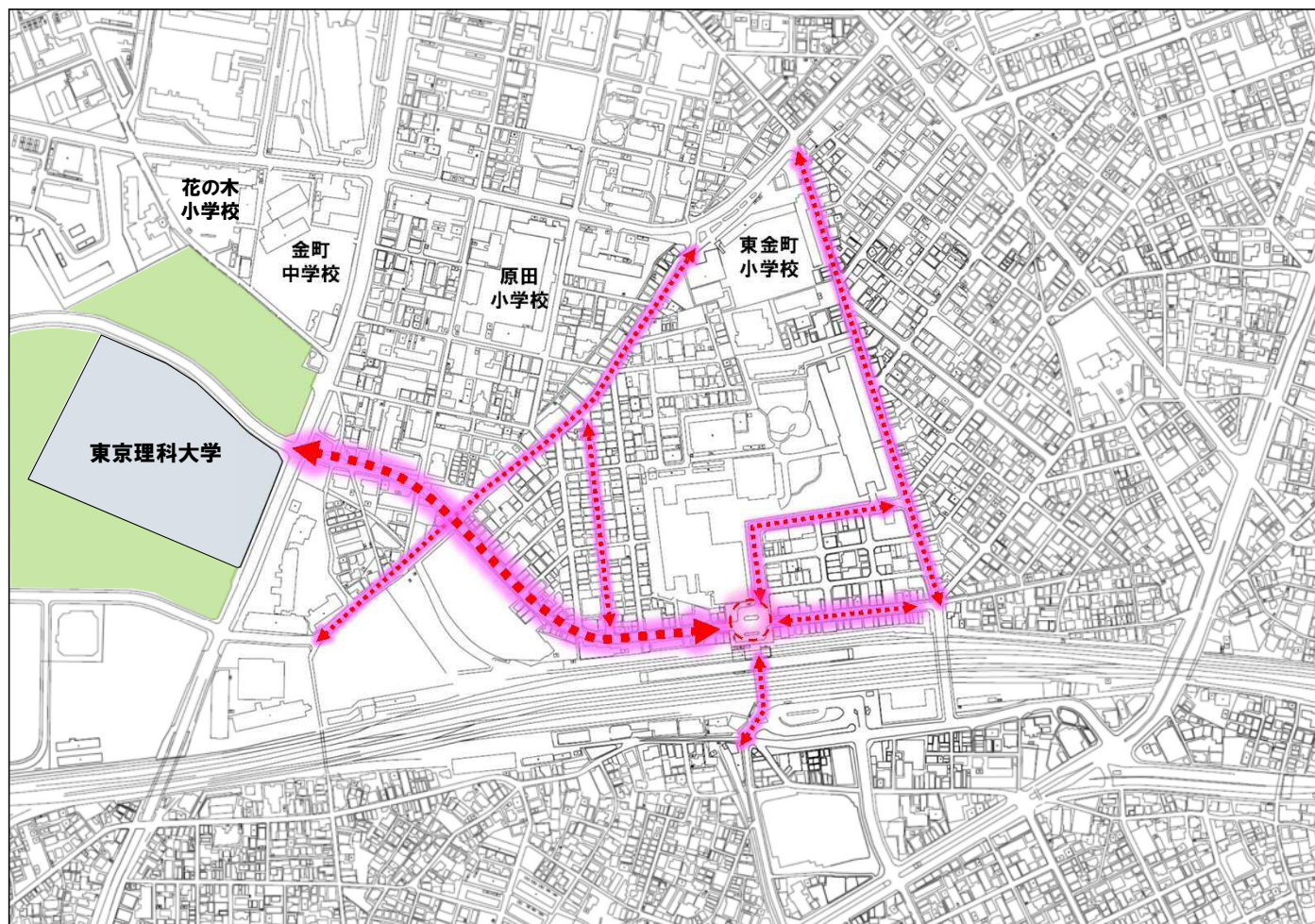
ワークショップスタイルでの意見交換の結果

- 6グループに分かれ、意見交換をしました。
- グループごとに出された意見をまとめ、発表しました。



4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

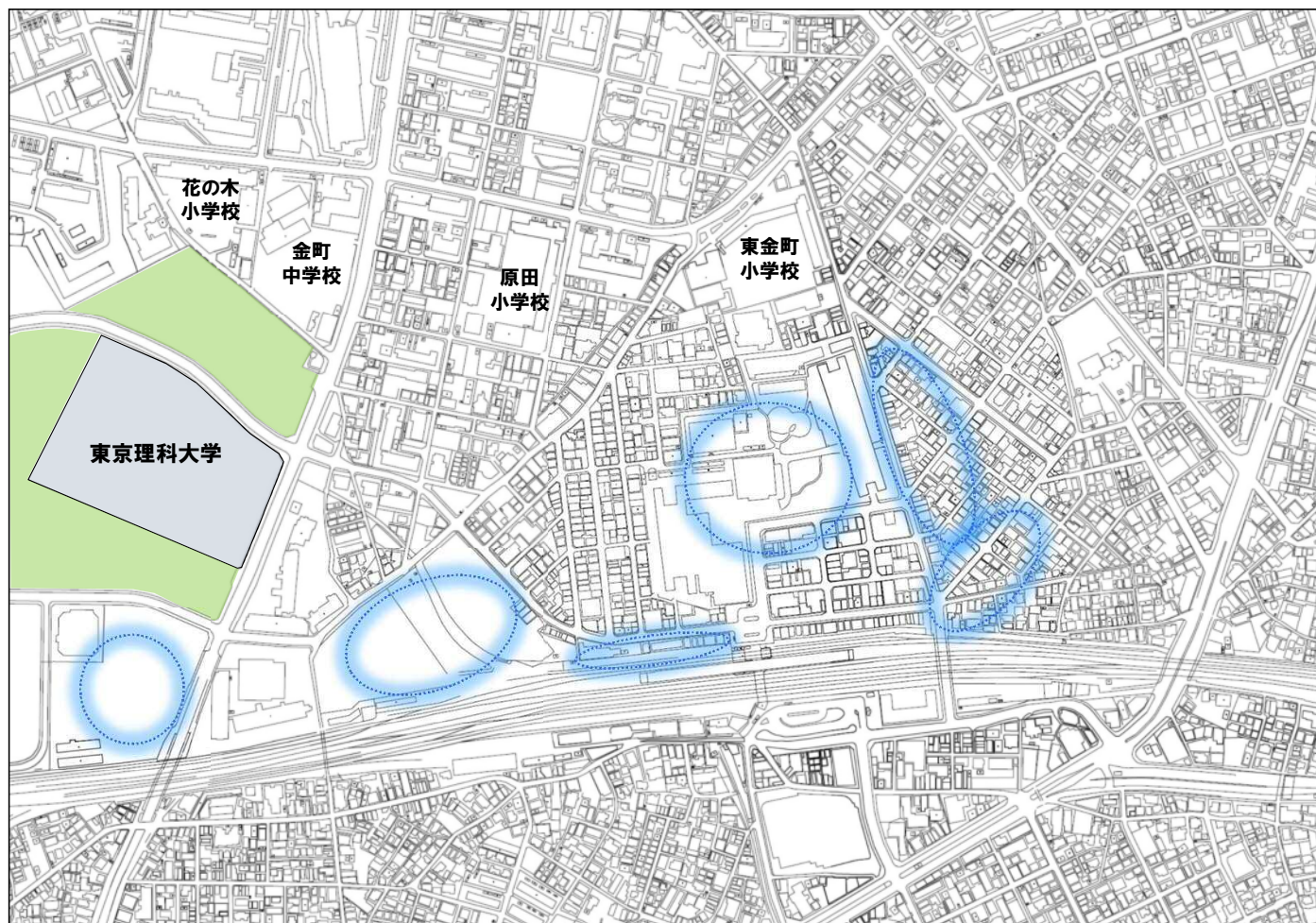
安全・安心な都市基盤への改善に関するご意見



- 歩いていて危ない、歩きにくい、安全性、利便性、回遊性が必要（高齢者、車椅子、子供など）
 - ・ 理科大学通りの歩道を広くするために拡幅
 - ・ 理科大学通りなどの一方通行化による歩道整備、バスの巡回
 - ・ 東金町小学校への通学路の安全性が必要
 - ・ 東西に加え、南北の道路整備が必要
- 駅前広場（ロータリー）を必要とするか、しないか
- 京成金町⇔JR金町駅の乗り換えで行列が出来る
- 自転車対策が必要

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

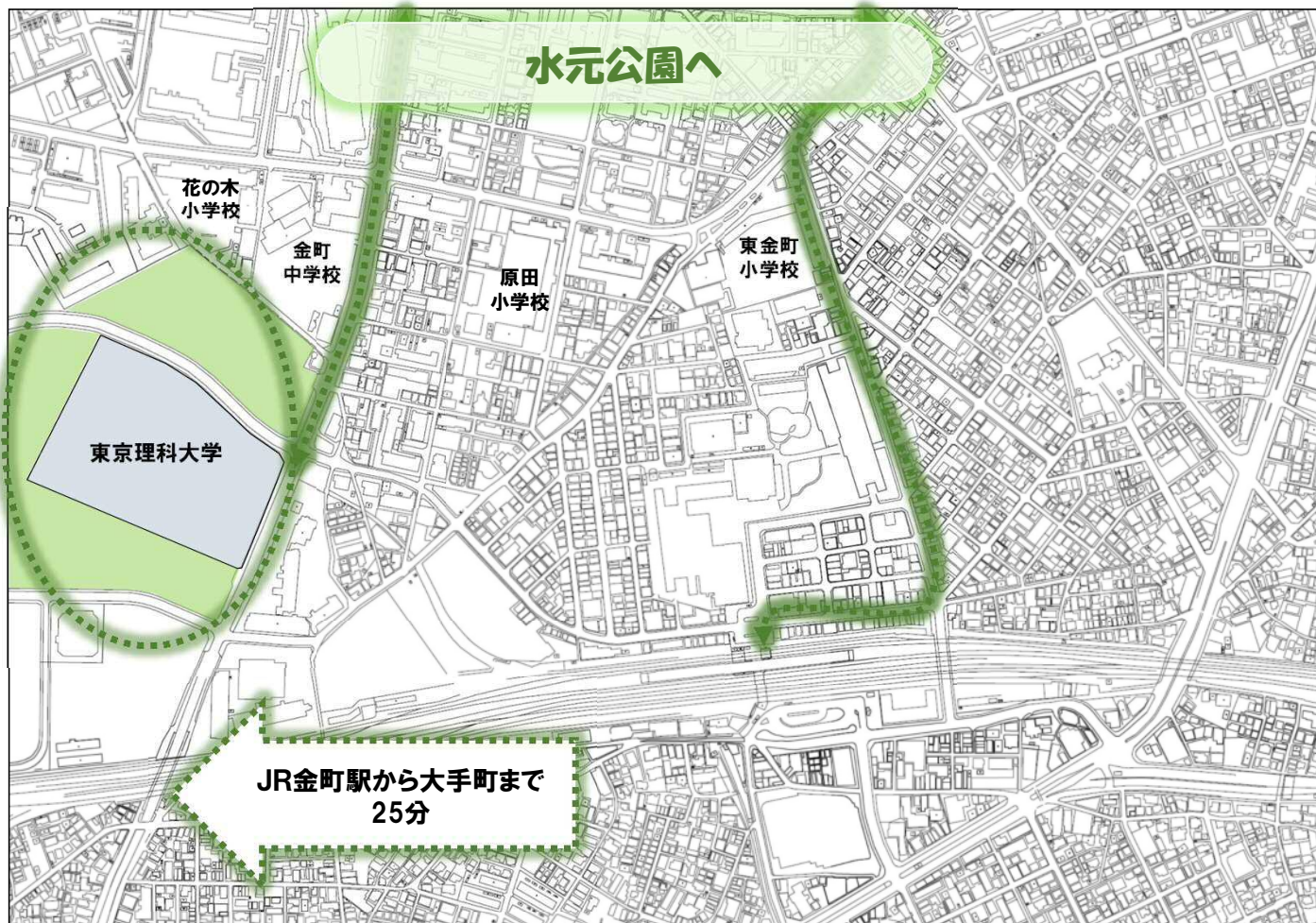
個性あるまちの賑わい拠点の再構築に関するご意見



- 消費の流出が多い、新しい拠点を
つくって人を呼ぶことが必要（東
金町一丁目西地区）
- 今の地区センターは使いづらい、
地区センターも含めて共同ビル化
などの駅前らしいまちづくり
- UR団地は長期的に考える、建物
更新の場合は高層を建てやすくし
て近代的なイメージのある賑わい
のある街へ
- 商店が減ってきたが、小さい商店
会も必要（しょうぶ通り沿い）
- 金町駅北口周辺地区には、女性向
けの店、若い男性向けの店、有名
店がない

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

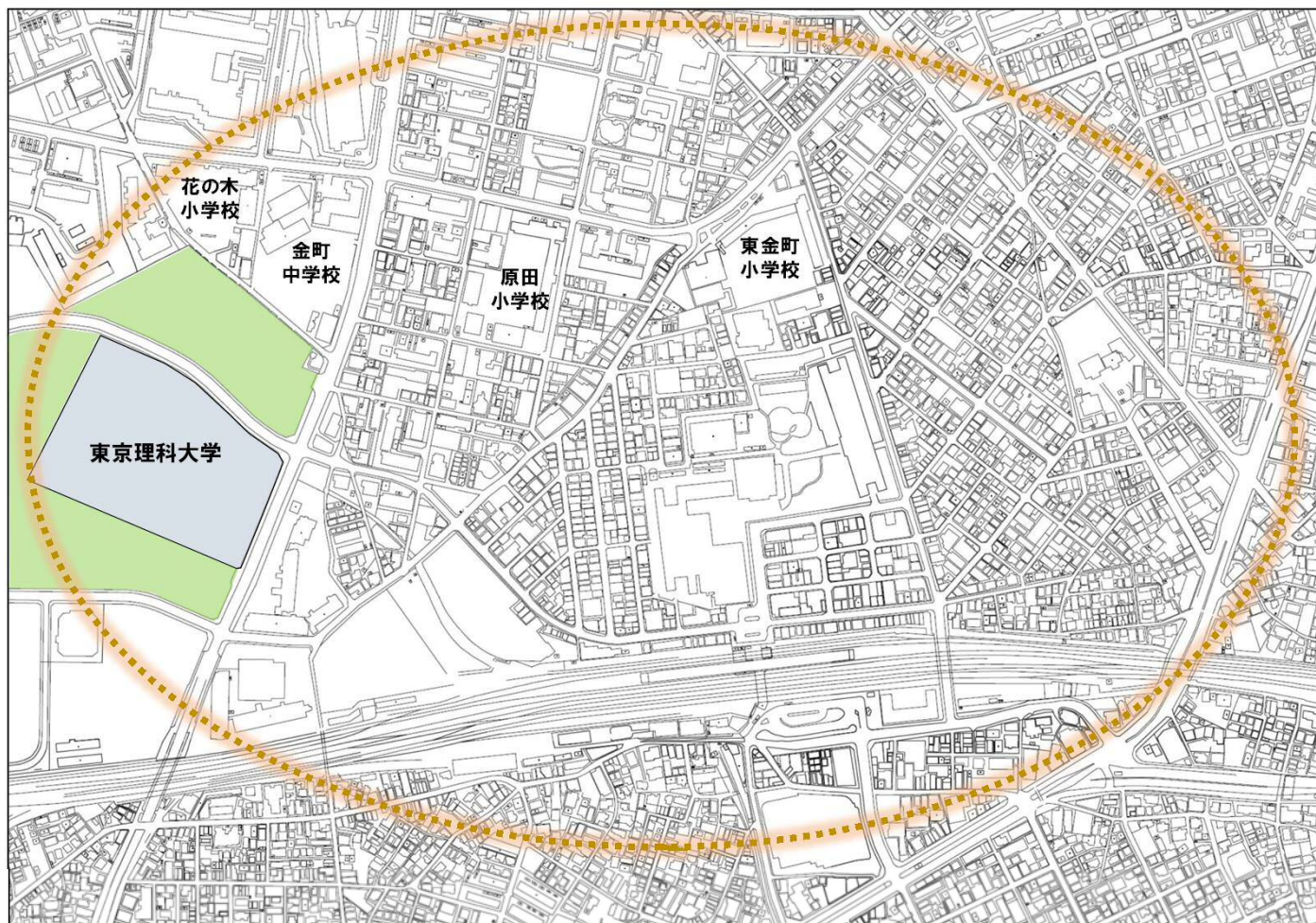
金町駅北口の知名度を高める魅力づくりに関するご意見



- 水元公園をもっとPR、他には葛西神社、半田稻荷神社、など
- 水元公園までの送迎バス（コミュニティバス）を平日も増やす
- 文教地区のイメージ・文教地区の出発点、金町駅から水元公園までの案内看板やわかりやすいルート
- 東京理科大学から水元公園までをもう一つのシンボルロード（イルミネーション、デートスポット）
- 花楽カフェは良かった、東京理科大学や葛飾総合高校などの学生のパワーを使ってどんどんやって
- 大手デベロッパーも注目している、ブランド力をどう高めるか、大手町など都心に近い

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

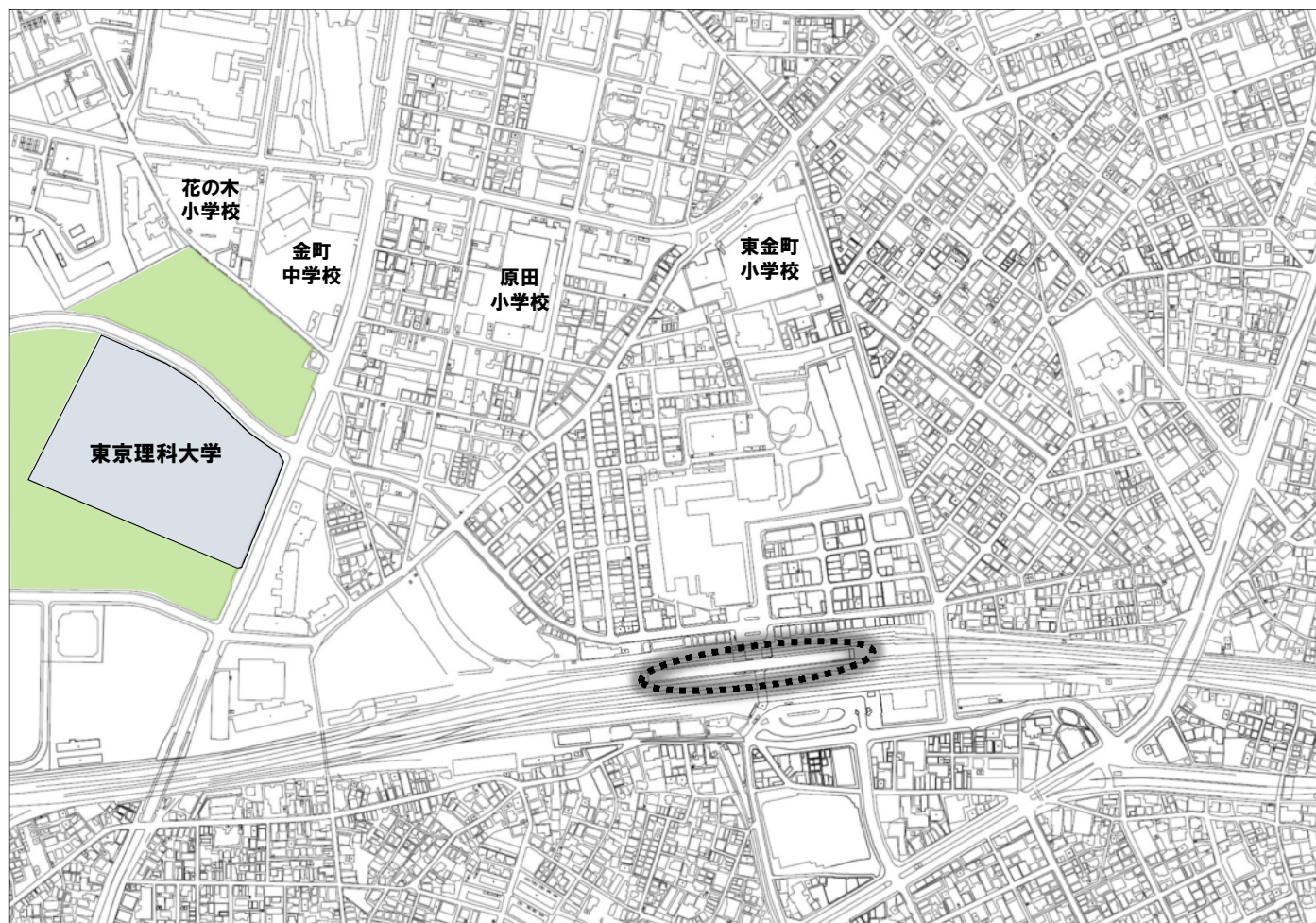
多様な世代による持続的なまちづくりに関するご意見



- 地域人材との連携
 - ・ 東京理科大学や葛飾総合高校と連携したイベントの実施による地域の交流
 - ・ 高齢者を中心に行われている川柳イベント等にまちの人達が参加する
 - ・ まちづくりに興味のあるシニア層との連携

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

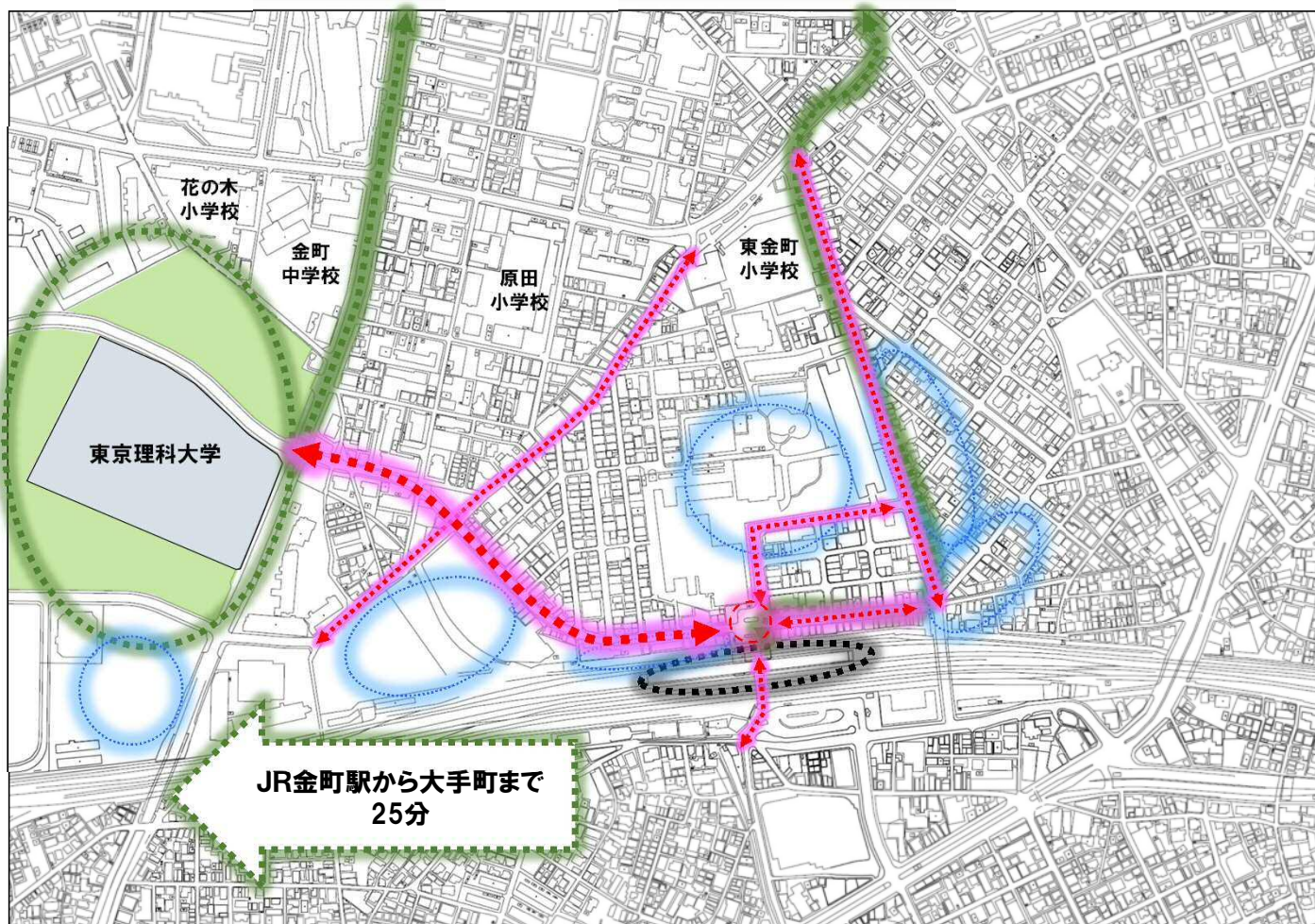
その他のご意見



- J R 金町駅
 - ・ 駅を改良 (J R と京成をつなぐ)
 - ・ 金町駅の西口改札を新たにつくる
 - ・ 駅舎を西側に移設
 - ・ 常磐線快速の停車
 - ・ 竹ノ塚駅を参考にした駅ビル
- 京成線を水元公園まで伸ばす
- 子育て世帯が増えて学童保育が不足
- 待機児童をゼロに
- 学校区によって児童数に偏りがある
- 先が見えた方が地域としても意見が出しやすい、区としてどう考えているのか知りたい

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

ワークショップ意見の集約 = まちづくりの方向性(案)



- 道路の安全性、利便性、回遊性が必要（高齢者、車椅子、子供などやバスの巡回）

- 新しい拠点を（東金町一丁目西地区、地区センターなど）
- UR団地は長期的に
- 商店が減ってきたが、小さい商店会も必要（しょうぶ通り沿い）

- 文教地区のイメージ、文教地区の出発点としてPR
- 花楽カフェ、東京理科大学や葛飾総合高校などの学生のパワー

- 地域人材との連携

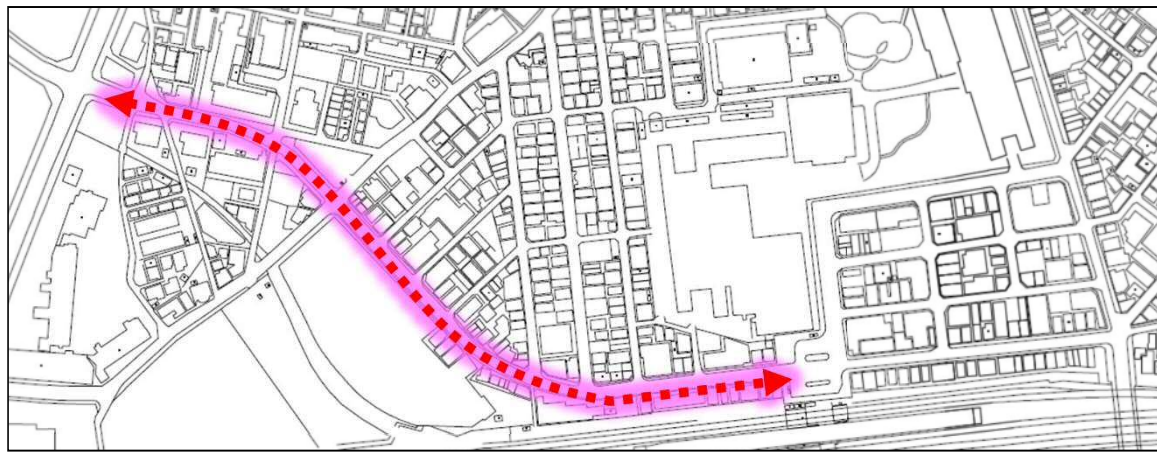
- JR金町駅の改修など

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

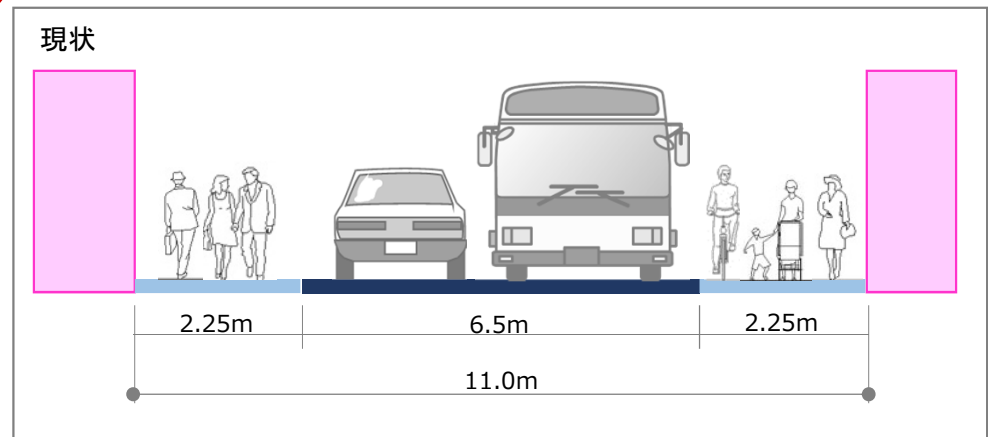
**ワークショップスタイルでの意見交換
の結果に対するまちづくりの方向性 (案)**

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

理科大学通りの安全性など確保の考え方



- 理科大学通りの安全性など確保の考え方として、①一方通行化する方法、②拡幅整備する方法が考えられます。
- どちらの場合でも、沿道の方々のご理解とご協力が必要となり簡単なことではありませんが、地域まちづくりの観点から、拡幅整備に向けて検討したいと考えます。
※理由は次頁以降での説明となります。



歩道が狭く、歩行者の安全性などに課題があるので改善したい!!!

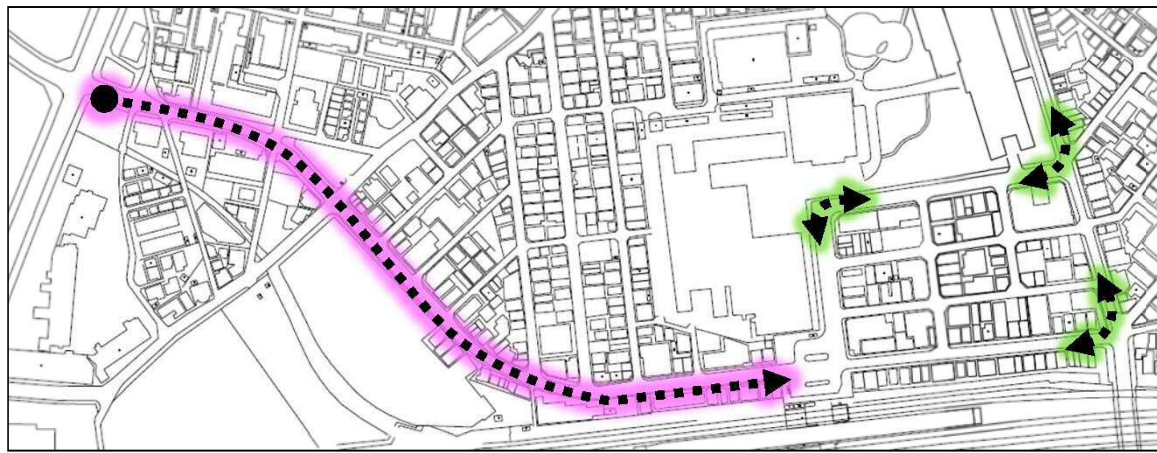
一方通行化?

拡幅整備?

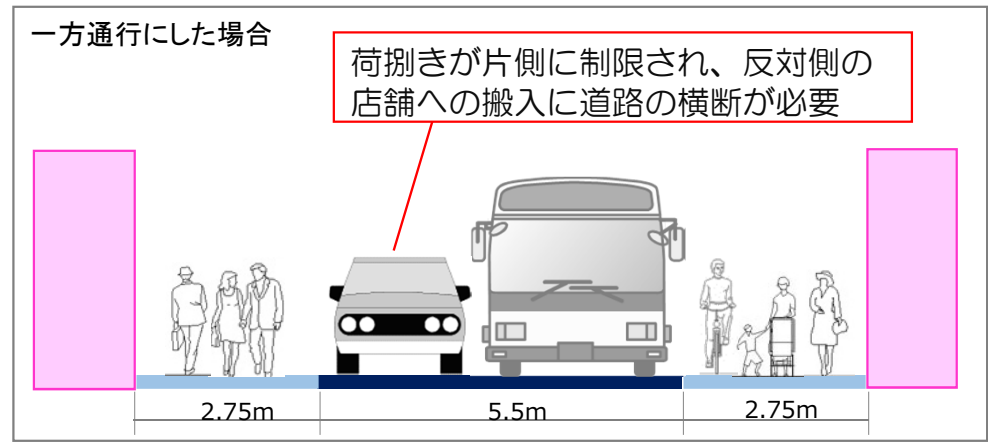
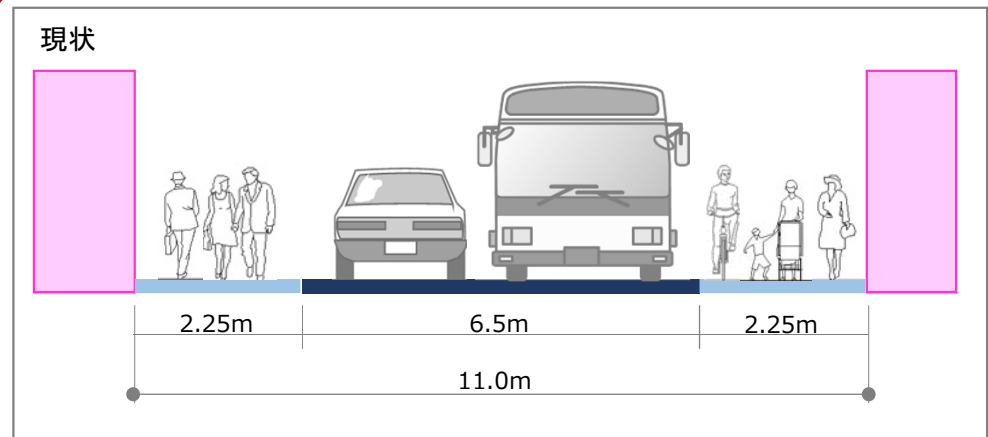
拡幅整備に向けて検討

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

理科大学通いの一方通行化が難しい理由

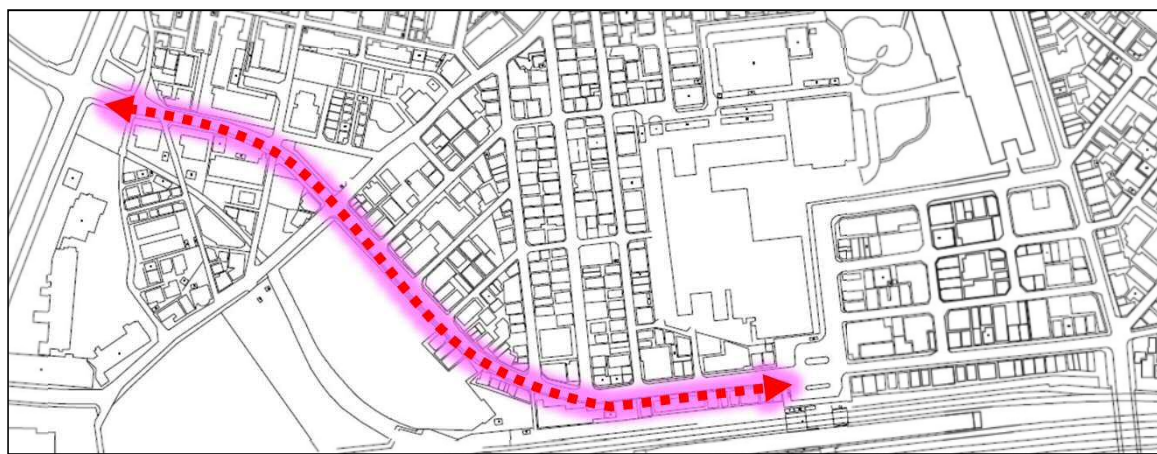


- 理科大学⇔駅前広場の間はバスが通行可能ですが、駅前広場⇔しょうぶ通りの間はバスが曲がることのできない状況にあるため、バスの通行に課題があります。
- また、一方通行化した場合、歩道はあまり広がらず、また、荷捌き駐車が片側に制限されますので、沿道の方々の同意を得ることが非常に難しいと考えます。

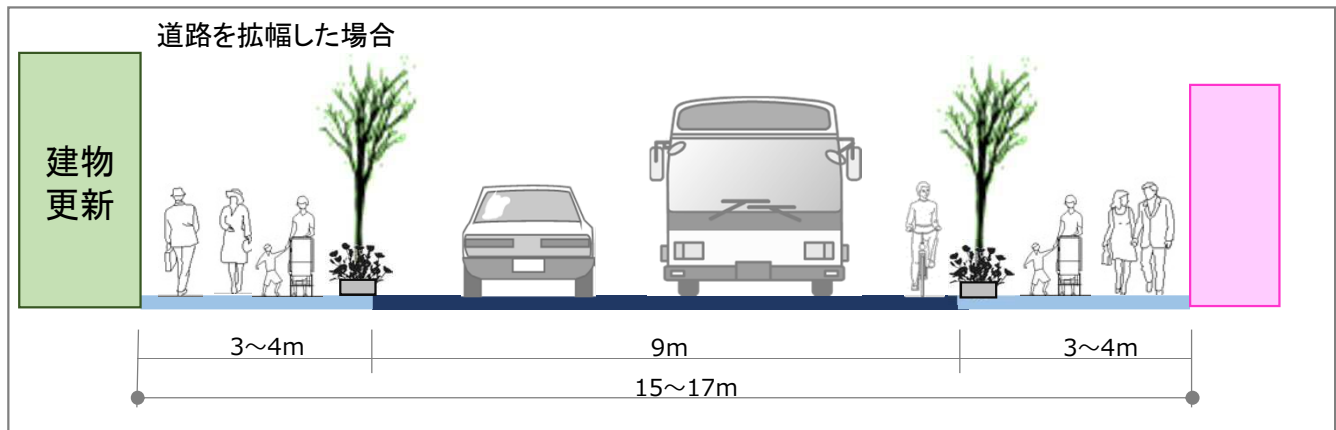
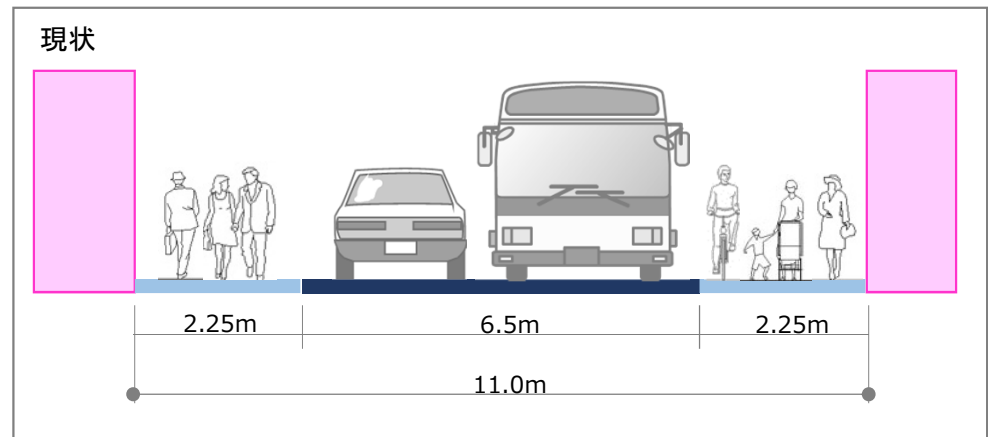


4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

理科大学通いを拡幅する場合の考え方



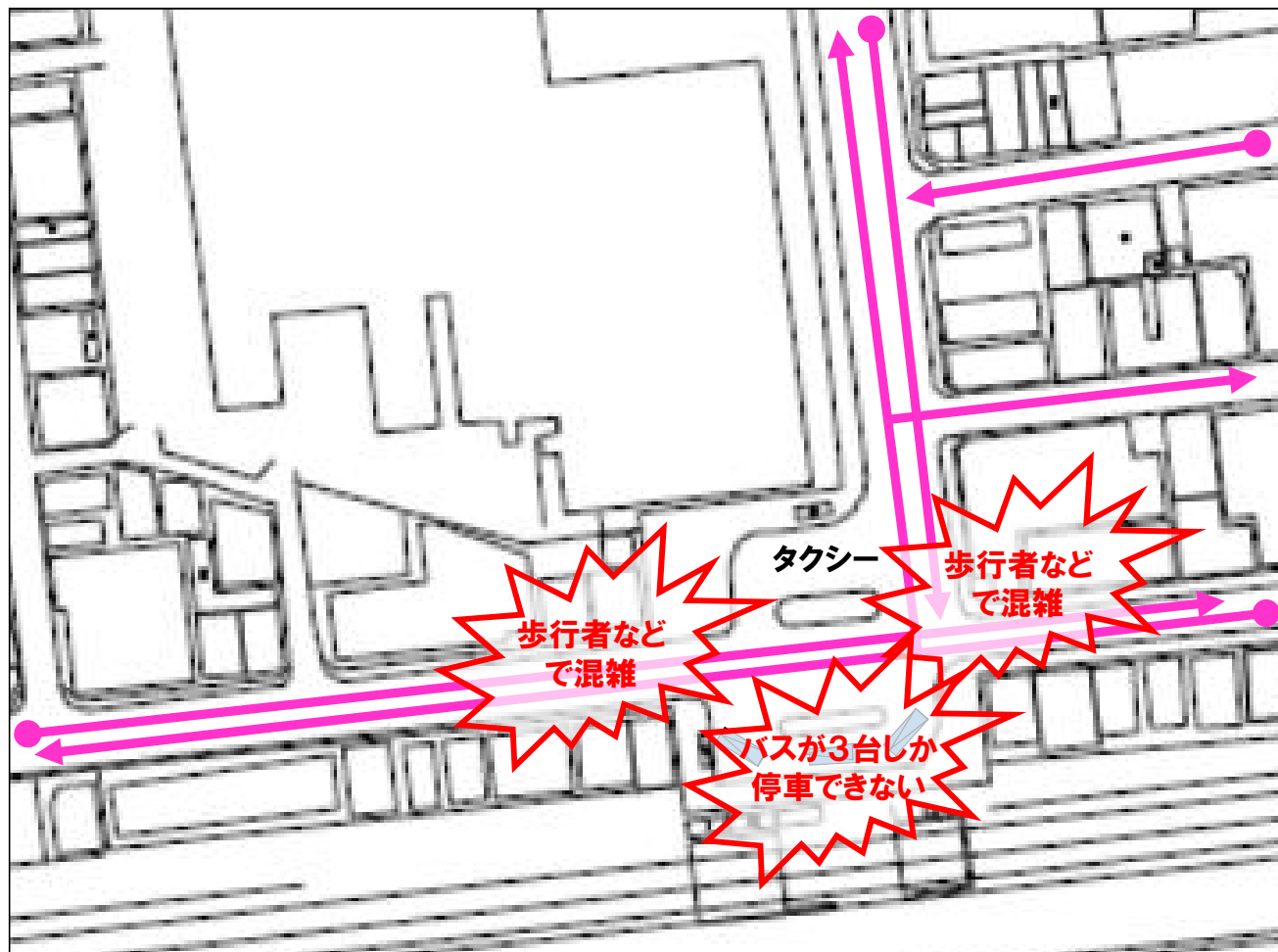
- 理科大学⇔駅前広場間の理科大学通り拡幅のためには、沿道建物の更新などが必要となります。
- このため、沿道地権者の方々のご理解やご協力を得るため、道路整備と沿道まちづくりを一体的に考えることが必要となります。



※「道路を拡幅した場合」はイメージであり、決まったものではありません。

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

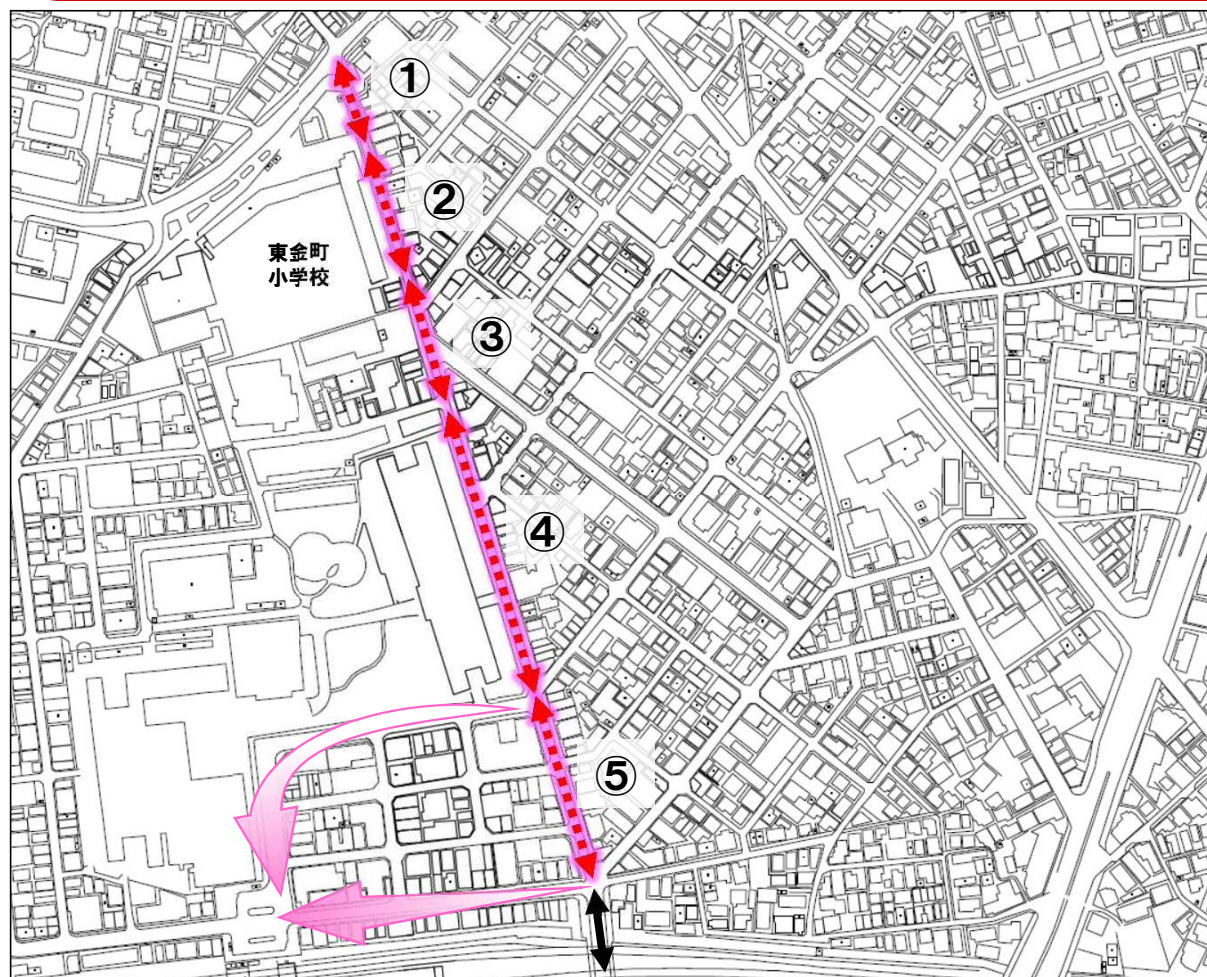
駅前広場の現在の課題など



- 現在の駅前広場は約2,400㎡であり、バスの乗り場が2ヶ所、降り場が1ヶ所しかなく、障害者用の車の乗降場もないなど手狭な状況です。
 - ・金町駅南口：約5,400㎡
 - ・亀有駅北口：約3,100㎡
 - ・亀有駅南口：約4,270㎡
- また、駅前広場内では、ピーク時など歩行者などで混雑し、安全性に大きな課題があります。
- 駅前の安全性、利便性の向上を図るため、地権者の方々のご理解やご協力を得て、駅前広場を拡張する必要があると考えます。

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

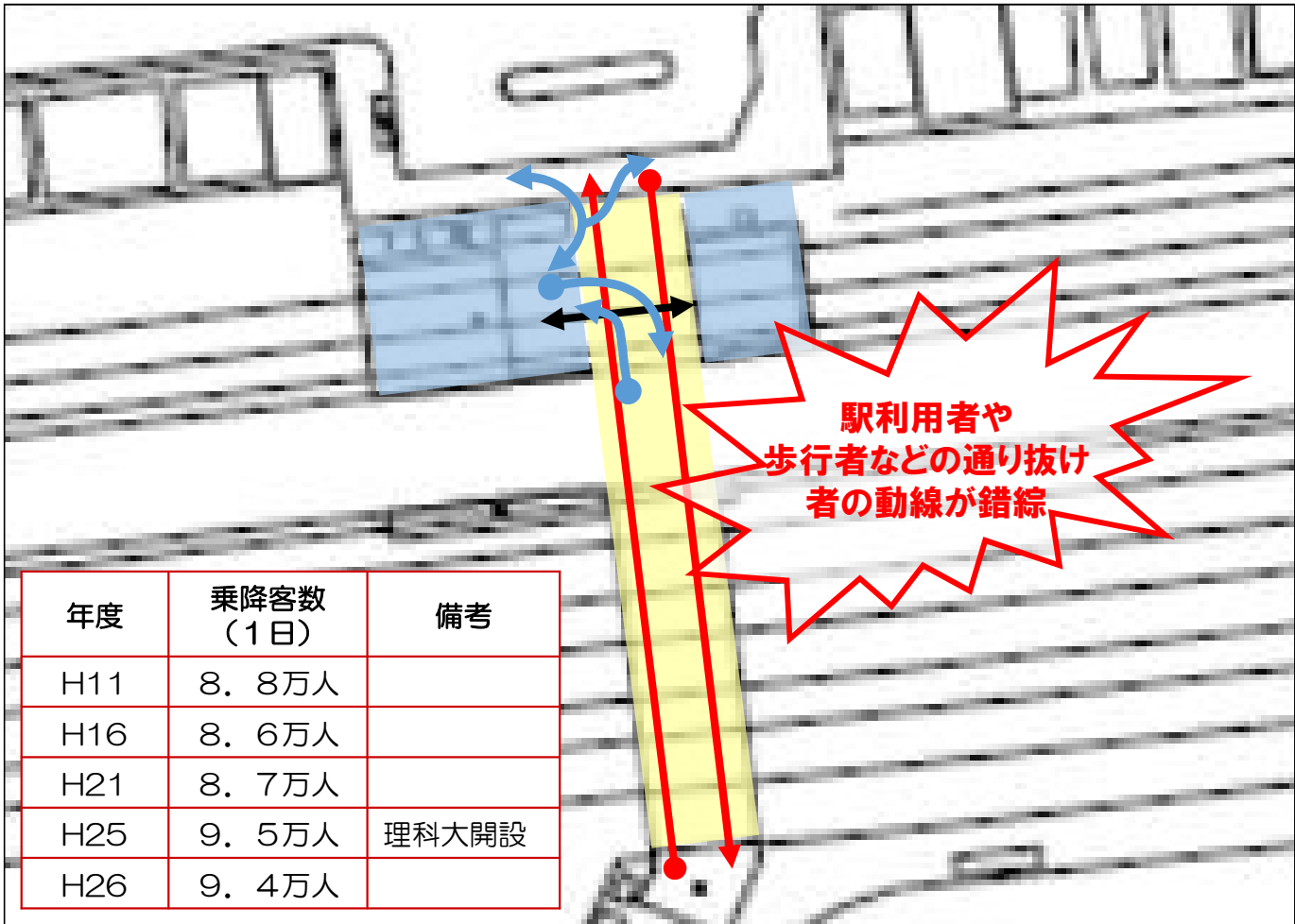
しょうぶ通りのまちづくりの考え方



- 金町駅北口周辺地区の安全性、利便性、回遊性を向上させるためには、しょうぶ通りの拡幅も必要と考えます。
 - ①部分：区有地を活用して、西側への歩道拡幅が予定されています。
 - ②部分：東金町小学校の改修の併せて、西側への歩道拡幅が可能です。
 - ③部分：地権者の方々のご理解やご協力が必要となります。
 - ④部分：UR団地と西側への歩道拡幅を協議することは可能となります。
 - ⑤部分：地権者の方々のご理解やご協力が必要となります。
- また、しょうぶ通りから駅前広場へのバスルート確保方策の検討を行い、回遊性を実現することが必要と考えます。

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

JR金町駅の課題と課題の解決に向けた考え方



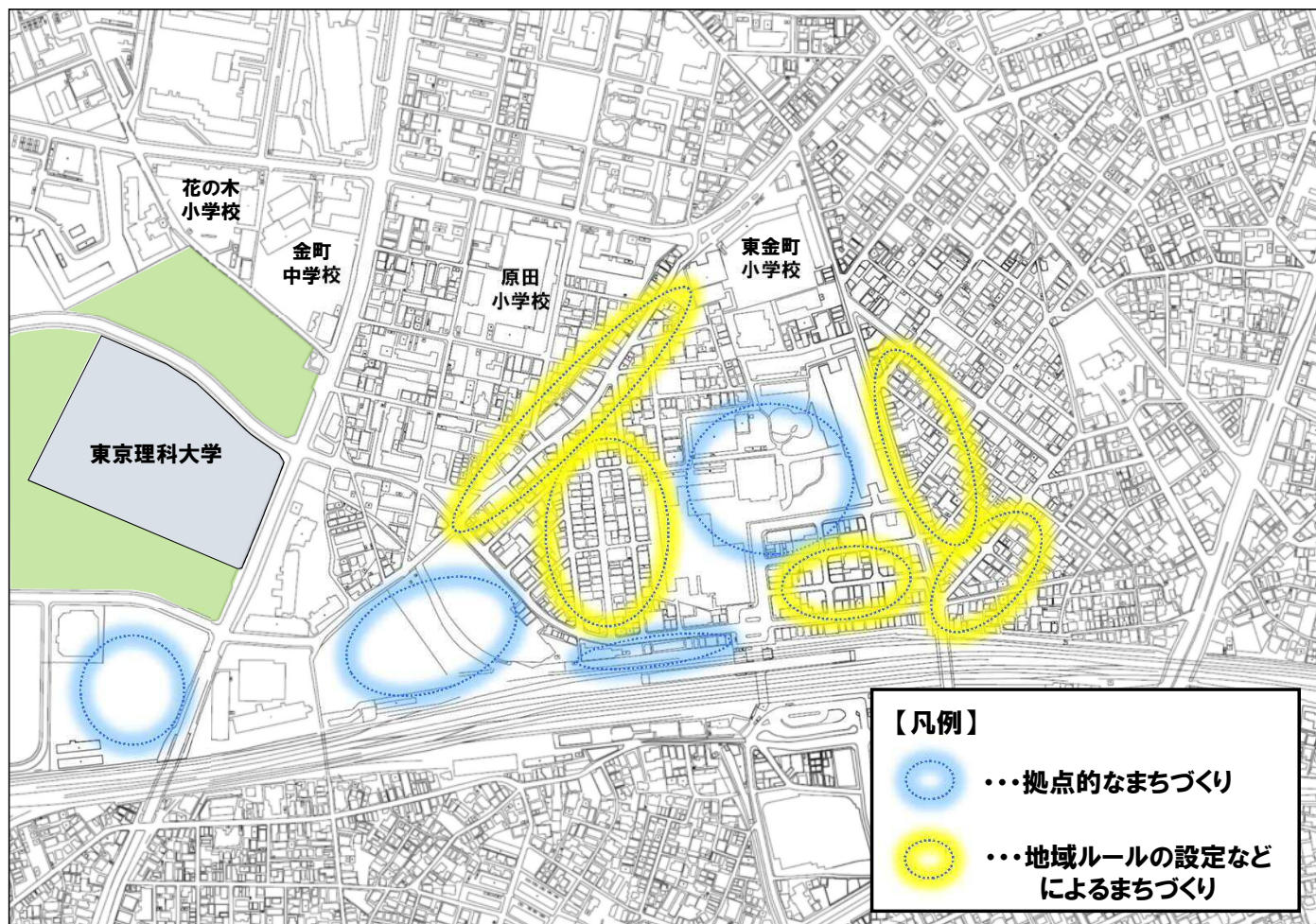
The diagram shows a station platform area with a yellow vertical strip representing a pedestrian path. Blue arrows indicate the flow of passengers, while red arrows show the paths of pedestrians and those using ticket machines. A red starburst callout box contains the text: 駅利用者や歩行者などの通り抜け者の動線が錯綜 (The movement paths of station users and pedestrians, etc., are chaotic).

年度	乗降客数 (1日)	備考
H11	8.8万人	
H16	8.6万人	
H21	8.7万人	
H25	9.5万人	理科大開設
H26	9.4万人	

- JR金町駅では南北自由通路において、「歩行者や自転車の通り抜け動線」と「改札口や券売機利用者」の動線が交錯するなど安全性などに課題があると考えます。
- また、平成25年4月の東京理科大学の開設や大規模マンションの供給などにより、金町駅の乗降客数が増え、駅の混雑が増してきています。
- このため、金町駅の安全性などの改善に向けた意見交換を、区とJR東日本で行っています。

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

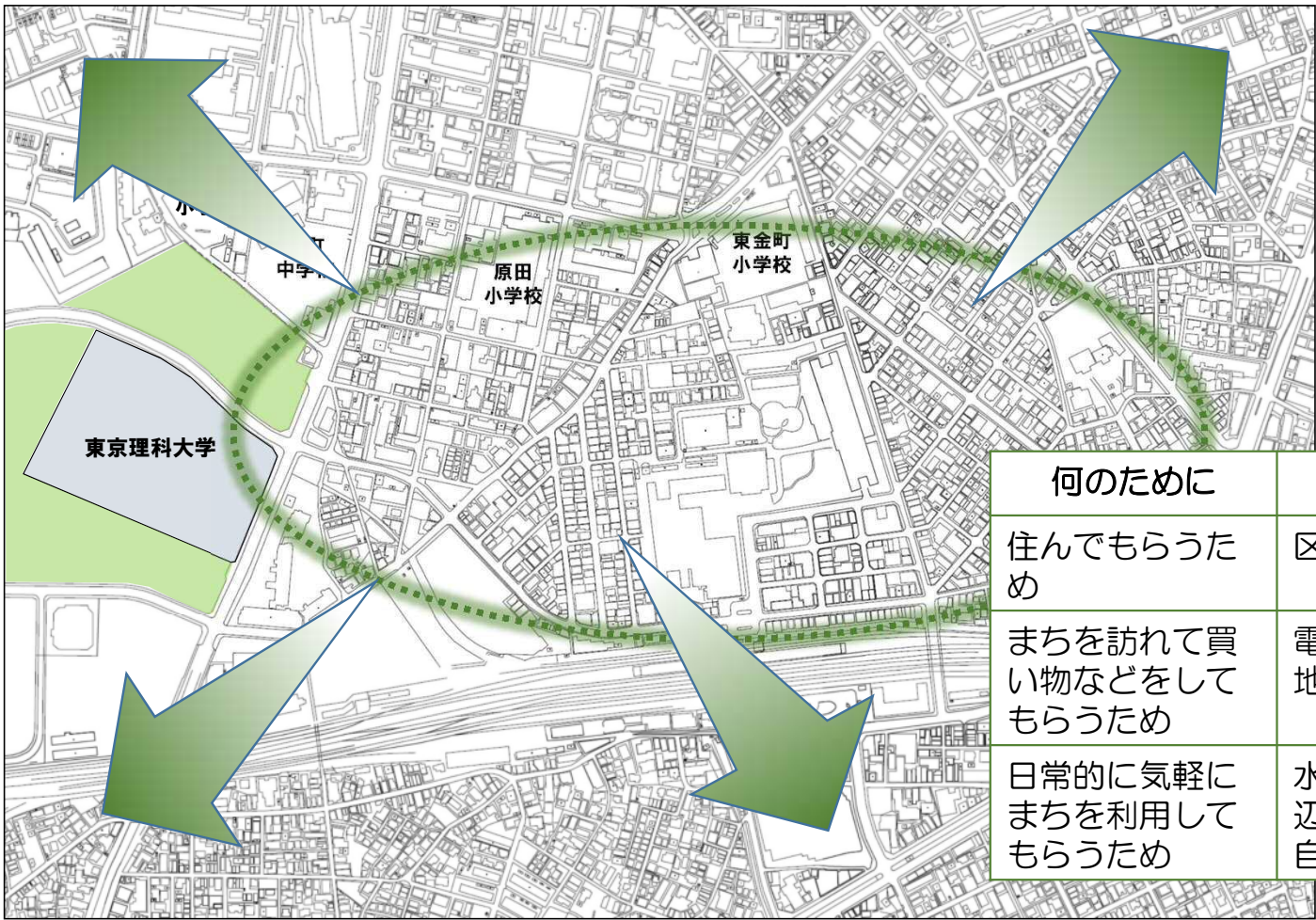
拠点的なまちづくりと商店街の活性化などの考え方



- 地域の活性化などに向けて、拠点的なまちづくりを計画的に進めることが必要と考えます。
(東金町一丁目西地区など)
- 一方、既存のまちを残しながら商店街の活性化などを図ることも重要と考えます。このため、地区計画などの地域ルールを定めて、金町らしさを活かしたまちづくりを進めることも必要と考えます。
- 引き続き、地域の方々との意見交換を行い、地域や地区毎に必要なまちづくりの方向性を定めることが必要と考えます。

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

金町駅北口の知名度を高める魅力づくりの考え方



- 水元公園や文教地区としてのイメージをPRし、より多くの人に金町を知ってもらうことは重要なことです。
- しかしながら、何をPRして、どのような人に、どのように関心をもってもらうのか、を明確にすることが必要です。

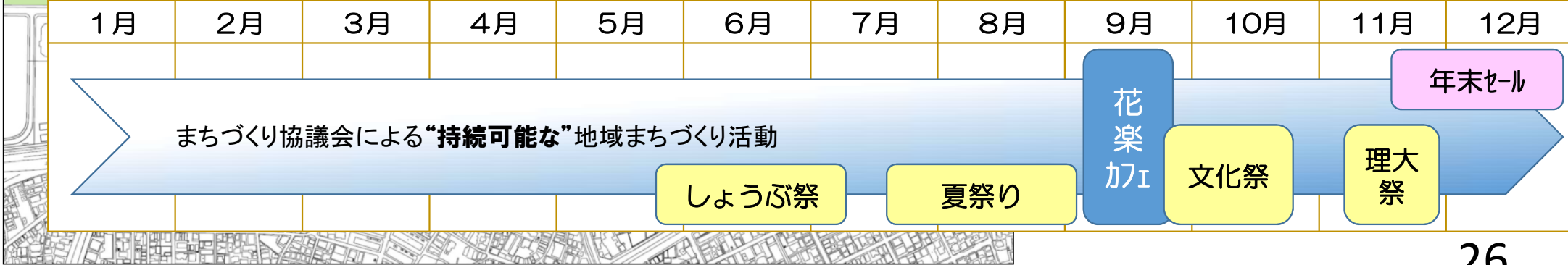
何のために	誰に対して	何をPR
住んでもらうため	区外を含めた人	文教地区、水元公園など自然豊か、都心まで近い
まちを訪れて買い物などをしてもらうため	電車を利用して金町地域に来る人	水元公園などの観光名所、個性ある商店街など
日常的に気軽にまちを利用してもらうため	水元地域など金町周辺の人へ（バスや車、自転車、徒歩）	まちづくりにともなう駅前地区の安全性や利便性の向上など

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

多様な世代による持続的なまちづくりの考え方

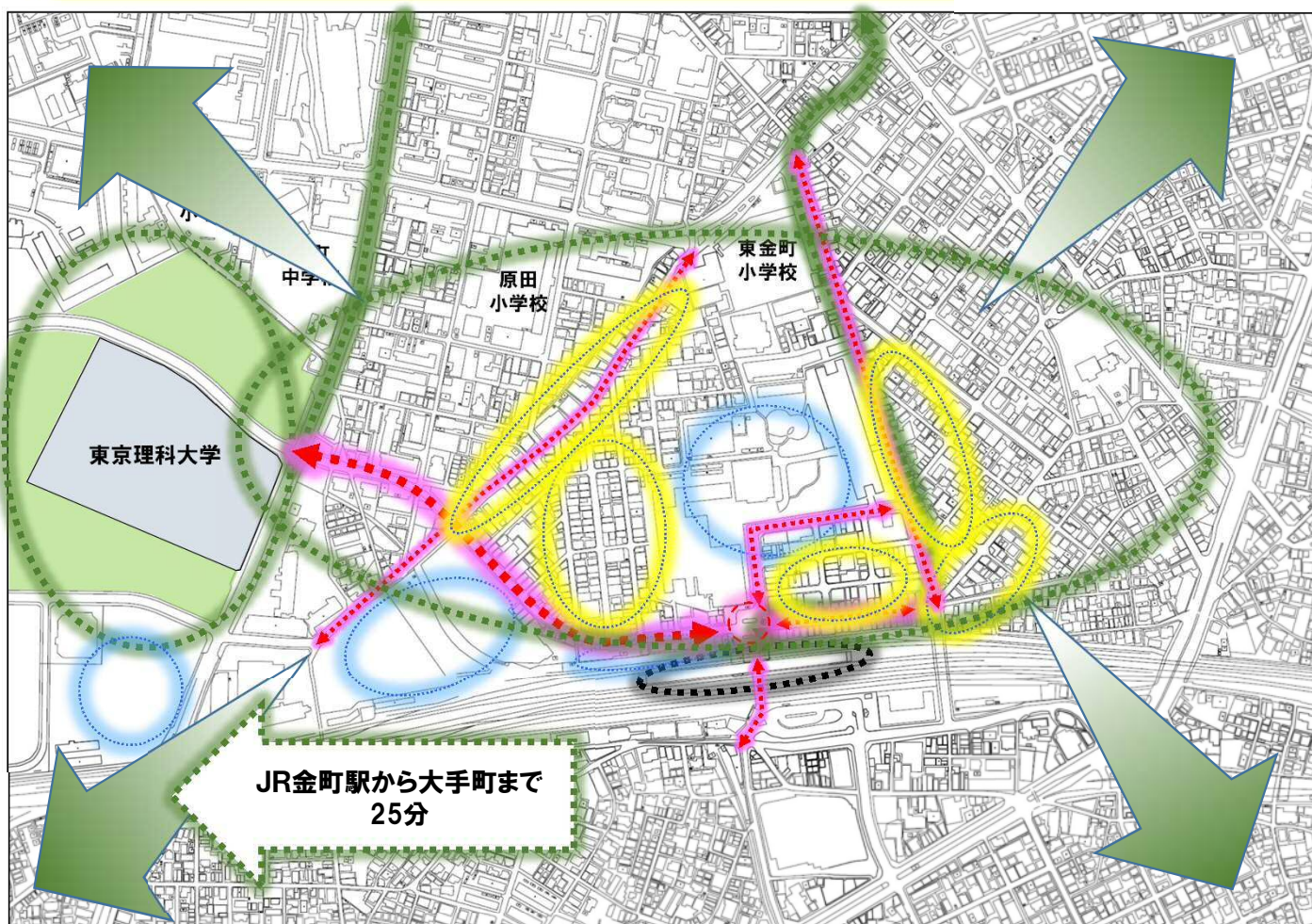


- 先ずは、地域の方々が知り合いになることが必要と考えます。
- 夏祭り等での交流や「花・楽・Café」で協働する人を増やしたり、まちづくり協議会が川柳大会や囲碁・将棋大会など、持続できるイベントを実施することも考えられます。
- 地域の活動を支える人や交流を見つけ出しましょう。



4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

まちづくりの方向性の取りまとめの考え方 ①



- 第4回まちづくり勉強会でのワークショップスタイルによる意見などを集約したものを基本として、まちづくりの方向性を考えます。
- 更に、4つのテーマ毎に、具体的に実現できる内容や引き続き検討を進めて実現を目指す内容を整理し、取りまとめることが必要と考えます。
- このため、地域の方々と区で共有できる「(仮称)金町駅北口周辺地区全体まちづくり構想」を、引き続き、まちづくり勉強会などを通じて協働しながら、取りまとめたいと思います。

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

まちづくりの方向性の取りまとめの考え方 ②

安全・安心な都市基盤への改善

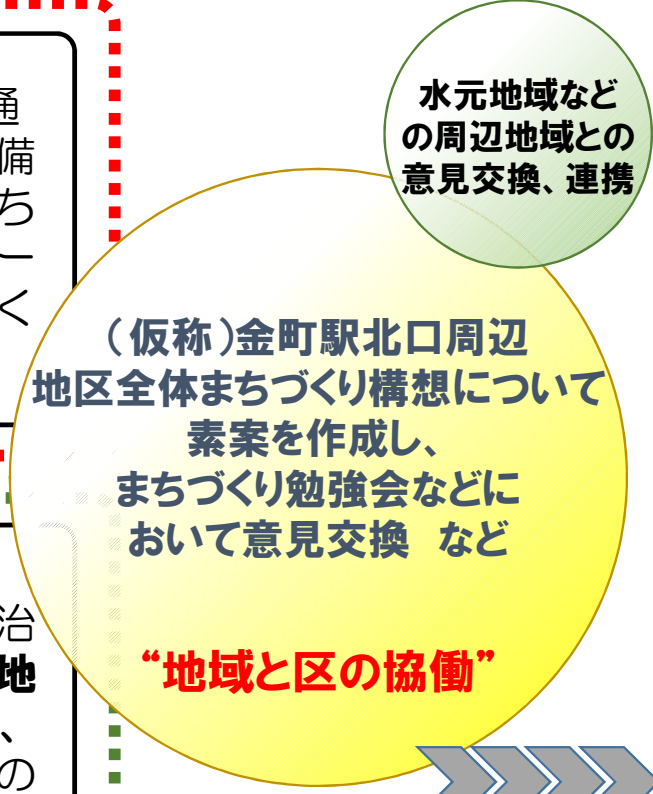
個性あるまちの賑わい拠点の再構築

「**区として**」、理科大学通りや駅前広場などの整備や、沿道や拠点的なまちづくりの推進、地域ルールの設定などのまちづくりに取り組む。

金町駅北口の知名度を高める魅力づくり

多様な世代による持続的なまちづくり

まちづくり協議会や自治町会、商店会などの「**地域として**」、持続出来る、金町らしい取り組みなどのまちづくりに取り組む。



仮称・全体まちづくり構想

4. 金町駅北口周辺地区のまちづくりについて(案)

金町駅北口周辺地区が賑わい、活性化し、より良い“まち”となるよう、「(仮称)金町駅北口周辺地区全体まちづくり構想」を取りまとめていきたいと考えています。

まちづくり構想の取りまとめに当たりましては、引き続き、地域の方々や地域を利用される方々と協働しながら進めていきます。

おわり